

# 嵯峨谷集落ネットワーク圏（橋本市）

## 事業名：隠れ里“嵯峨谷”を未来へつなぐ“架け橋”プロジェクト

### 背景・課題・活性化の方針等

- ・嵯峨谷生活圏は、橋本市の北西端部にある浦窪と上垣内の2つの集落からなるネットワーク圏
- ・世帯数：44世帯、人口：135人、高齢化率：43%（H27国勢調査）
- ・公共施設等：高野口山村体験交流促進センターが唯一の公共施設
- ・人口減少や高齢化による農業労働力の減退
- ・災害時の集落間分断による孤立化の懸念
- ・高齢化と人口減少の進行による草刈り等地域活動の担い手が不足
- ・若者の減少による伝統行事衰退の危機
- ・両集落の全戸参加による生活圏一丸となった地域づくり

### 集落ネットワーク圏で取り組む内容

#### 先進的技術を活用した安全・安心な生活の実現

- ◆災害時の物資輸送対策（嵯峨谷「縁」の会）
  - ・災害に備えたドローンによる集落間の物資輸送訓練
- ◆農業労働力の軽減対策（嵯峨谷「縁」の会）
  - ・ドローンによる肥料散布

#### 関係人口創出による担い手の確保

- ◆嵯峨谷サポーターズの創設（嵯峨谷「縁」の会、大阪芸大）
  - ・サポーターズ制度を導入し、地域の担い手を確保
- ◆体験イベント等の企画・運営（嵯峨谷「縁」の会、大阪芸大）
  - ・実施が困難となっている集落の共同作業（草刈り等）の体験イベント化
- ◆大学との連携による情報発信（嵯峨谷「縁」の会、大阪芸大）
  - ・PR動画等を作成しSNS等で発信

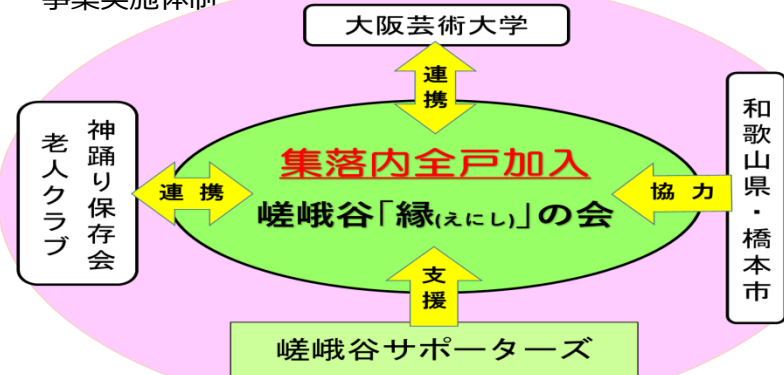
#### 移住・交流の促進

- ◆子供の国スペースの設置（嵯峨谷「縁」の会）
  - ・親子で楽しめる「子供の国スペース（ジャンボ箱庭）」を設置
- ◆カフェスペースの開設（嵯峨谷「縁」の会）
  - ・特産品等を提供するカフェスペースを開設
- ◆移住者の受入体制整備（嵯峨谷「縁」の会）
  - ・地域内の空き家情報の収集と移住相談窓口の設置

#### 伝統文化の継承

- ◆県無形民俗文化財「嵯峨谷の神踊り」の譜面化・映像化による保存継承（嵯峨谷「縁」の会、神踊り保存会、大阪芸大）
  - ・「嵯峨谷の神踊り（こどり）」をデータ保存（譜面化・映像化）し、後生へ伝承
- ◆地域の史実の保存（嵯峨谷「縁」の会、老人クラブ）
  - ・地域の史実を史料として編纂し、地域内外の関係者に配布

#### 事業実施体制



災害時のドローンによる物資運搬訓練



集落内の棚田